

国際シンポジウム

「北東アジアにおける安保環境の変化と日韓北中—未来戦とデジタル覇権」を実施

2024年9月23日（月）、立命館大学東アジア平和協力研究センターでは韓国外国大学国際地域研究センターHK+国家戦略事業団との共催で国際シンポジウム「北東アジアにおける安保環境の変化と日韓北中—未来戦とデジタル覇権」を実施いたしました。

この国際シンポジウムは、駐大阪大韓民国総領事館の後援および協力によって開催されました。シンポジウムでは今後の北東アジアの安保環境変化をそれぞれのアクターの立場から総括し、新しく注目を集めている分野である認知戦とデジタル覇権という分析枠組みで研究交流が行われました。最近になってやっと注目を集めている認知戦・デジタル覇権争いという分野に携わる若手研究者と、前・現職で外交実務を行っている著名な専門家間の意見交換によって、北東アジアの安保情勢を見る視座を共有する貴重な機会の場となりました。また、日本・韓国・台湾・アメリカなど様々な国籍を有する研究者が同時通訳を通じて自由な意見交換を行うなど、北東アジアの国際研究交流としても有意義なシンポジウムになりました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2024年9月23日（月）13:00-18:30

会場 駐大阪大韓民国総領事館

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター、韓国外国大学国際地域研究センターHK+国家戦略事業団

後援 韓国国際交流財団（KF）、駐大阪大韓民国総領事館

●参加者

康竣栄 （韓国外国大学HK+国家戦略事業団 団長）

陳昌洙 （駐大阪大韓民国総領事）

韓碩熙 （国家安保戦略研究院 院長）

金相鎭 （韓国中央日報）

崔雲燾 （元 東北アジア歴史財団 研究委員）

鄭起雄 （韓国外国語大学）

朱宰佑 （慶熙大学）

金鎭亨 （韓国外国大学HK+国家戦略事業団）

中戸祐夫 （立命館大学副学長・立命館大学東アジア研究センター センター長）

中達啓示 （立命館大学）

井上一郎 (関西学院大学)
米村耕一 (毎日新聞社)
持永大 (芝浦工業大学)
長迫智子 (情報セキュリティ大学院大学)
張瑛周 (立命館大学)
David Satterwhite (Temple University)
王尊彦 (国防安全研究院)



当日の写真`

プログラム

Session 2. 未来戦とデジタル覇権—北東アジアの現状

15:15 - 16:45

司会 藤野謙 (神田外国語大学)

- 発表 韓国 朱奉佑 (慶熙大学)
 - 北東アジアの安保環境の変化と日・韓・北・中: 未来戦とデジタル覇権
- 韓国 金鎮亨 (H&K-国家戦略本部)
- 影響力活動指数の構築戦略
- 日本 持永大 (芝浦工業大学)
 - 未来戦とデジタル覇権
- 討論 日本 Wilhelm Vosse (国際基督教大学)
- 日本 長迫智子 (情報セキュリティ大学院大学)
- 日本 中戸祐夫 (立命館大学)

16:45 - 17:00

休憩

Session 3. Round Table

17:00 - 18:30

司会 韓碩賢 (国庫安全保障研究所)

- 発言 台湾 王尊彦 (国防安全研究所)
 - 民主国家パートナーシップの光と影
- 韓国 金相鎮 (中央日報)
 - 日韓の「デジタル主権」をめぐる葛藤と協力
- 討論 参加者全員

19:00 - 21:00

夕食 (於: 駐大阪大韓民国総領事館)